

目次

巻頭言 日本語学科主任 柏木成章	i
掲載論文の構成について 寺村政男	ii
満洲語注音注釈『玉堂字彙』の満洲語について 寺村政男	1
戦争が遺した日本語 —— 「少国民綴り方」と「軍用支那語」 —— 田中 寛	13
東北方言発話動詞「カタル1」と「シャベル2」の意味用法について —— 共通語との違いに着目して —— 中道知子	43
『大東文化大学 日本語学科キャンパスことば辞典 2010』について 福盛貴弘	56
言語と言語史のための音素論と音韻論 早田輝洋	101
『清文指要』における“～上”について 荒木典子	116
中国における『古事記』の研究 —— その現状と展望 —— 劉 文星	121
『日本霊異記』における非仏教的な要素が含まれている説話について 白鹿	131
オノマトベを使った物語の教材作成について 1 結城佐織	140
長崎方言における音調の音声実現：初期報告 松浦年男	156
「一型アクセント」の実現について —— 小林方言とトルコ語の対照 ——* 佐藤久美子	167
日本初期遊里漢文小説の研究 —— 『平安花柳録』を代表として —— 王佳璐	181
『南総里見八犬伝』における白話語彙研究 于增輝	193
台湾光復前後における国民学校の発展背景 葉 慧君	208
日本語教科書における呼びかけ表現の考察 —— 韓国の中学校・高等学校の日本語教科書を中心に —— 吳 秀賢	222
満鉄附属地における日本語教育（1931年～1937年） —— 初等教育を中心に —— 宋 群	234
『漢清文鑑』における満洲語のハンゲル表記 1 —— 特に満洲語の文字連続 CVwV 2 を中心に —— 和田景子	244
韻文のリズムに関する音響音声学的基礎実験 桐越 舞	256
日本語部会のあゆみと展望 衣笠 慎	270
日本語部会研究会について 大東文化大学大学院日本言語文化学専攻日本言語文化学系 上田安津子 大東文化大学大学院日本言語文化学専攻応用日本語学系 魏美平	272
就職プロジェクトのあゆみと展望 湯浅崇之	273
「日本語教師プロジェクトのあゆみ」 山野邊良明	275
「教職プロジェクトのあゆみと展望」 荒木芽吹	277
あとがき 20周年記念論文集編纂責任者 日本語学科教授 寺村政男	279
『延暦僧録』「近江天皇菩薩伝」と百濟弥勒寺 —— 百濟・倭のふたつの弥勒信仰 —— 藏中しのぶ	1
欧陽予倩『潘金蓮』における谷崎潤一郎の文学の受容 張沖	10
『和名類聚抄』所引『異時外国志』『外国志』『外国伝』について 尹仙花	19
『三教指帰』に見られる『遊仙窟』の古訓 —— 『遊仙窟』古訓の規範性の視点から —— 黄雪蓮	26
『和名類聚抄』「牛馬毛」門の引用漢籍 —— 佚書『宜都記』攷 —— アントニオ・マニエーリ	33
『医心方』「承泣」「木溝」と『和名類聚抄』 李 芊	43
酒呑童子のクロス・メディア —— 川口松太郎・田中徳三・木原敏江の表現をめぐって —— ダニエーレ・レスタ	54
江戸初期の東照宮と三十六歌仙扁額 —— 一日光東照宮・久能山東照宮・仙波東照宮・滝山東照宮蔵本について —— オレグ・プリミアニーニ	64
「宇治十帖」に見える厭世思想について 林 宇	75